



## 東京産業保健総合支援センター研修案内(令和5年12月)

◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyos.johas.go.jp

## ◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施していません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

## ◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更しております。

お1人様、月1回のみの受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【日医認定産業医研修会の受付方法の変更について】(令和5年5月31日から一部変更)をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

先着順です。(抽選ではありません。)

日医認定産業医研修(令和5年12月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
11月2日(木)	10時～	12月4日(月)	14時～16時	職場復帰支援のあり方	専門2
	10時30分～	12月13日(水)	14時～16時	第14次労働災害防止計画の概要と重点	更新2
11月6日(月)	10時～	12月18日(月)	14時～16時	海外勤務の健康管理	専門2
	10時30分～	12月22日(金)	14時～16時	精神障害の労災補償	更新2

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
12月4日(月) 14:00～16:00 申込受付日時 11月2日(木) 10時～	職場復帰支援のあり方 職場復帰の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。	大西 守	生涯・専門2	55
12月13日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 11月2日(木) 10時30分～	第14次労働災害防止計画の概要と重点 新しい労働災害防止計画が、令和5年度からの5か年計画として始まります。労働災害防止計画は、労働安全衛生法に基づき厚生労働大臣が策定するものであり、国、事業者、労働者等の関係者が目指す目標や重点的に取り組むべき事項を定めています。重点事項として、安全衛生対策に取り組む企業が社会的に評価される環境整備、筋力等を維持するための運動プログラムの導入を含めた転倒災害・腰痛の防止対策の推進、高齢労働者の労働災害防止対策の推進、メンタルヘルス対策・過重労働対策・産業保健活動の推進、化学物質の自律的管理の推進などが定められています。この計画の概要と重点について解説します。	荒川 輝雄	生涯・更新2	55
12月18日(月) 14:00～16:00 申込受付日時 11月6日(月) 10時～	海外勤務の健康管理 海外派遣によって、大きく変わる就労環境や生活環境から、海外勤務中のご本人や家族の健康管理の重要性について、判例なども交えながら説明します。	森田 哲也	生涯・専門2	55
12月22日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 11月6日(月) 10時30分～	精神障害の労災補償 精神障害については40年以上前から労災認定事例が生じており、最近でも新たな心身症が認定されるなどの展開がある。 また、2023年秋にも精神障害の認定基準が改正される見通しである。 これらの労災補償の動きを理解し、メンタルヘルス対策の推進にも生かすこととする。	石井 義脩	生涯・更新2	55

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて11月1日(水)10時～です。

＜web研修＞ ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、お申し込みください◆

研修日時	研修テーマ	講師	定員
12月6日(水) 14:00～16:00	<b>【web研修会】メンタルヘルス対策と心の健康づくり計画作成のポイント</b> 職場や業務に対して悩みやストレスを抱える社会人は、近年増加傾向にあります。厚生労働省の調査によると、強いストレス要因を持つ労働者の割合は、全体の58%にのぼります(平成30年)。この数値からもメンタルヘルス対策の取り組みは、事業場にとって喫緊の課題の一つと言っても過言ではありません。そこで、厚生労働省では、メンタルヘルス基本方針として、事業場に対して「心の健康づくり計画」の策定を指示しています。当研修では、その「心の健康づくり計画」の策定方法、ポイント等を解説します。	本山社会保険労務士/ 行政書士事務所所長 特定社会保険労務士・ 行政書士・公認心理士 本山 恭子	70
12月15日(金) 14:00～16:00	<b>【web研修会】メンタルヘルス対策としてのパワーハラスメント対策</b> 「職場のいじめ・嫌がらせ」行為は職場の秩序を乱し、労働者の勤労意欲の阻害や生産性の低下をもたらす、さらに労働者のメンタル不調の原因となるなど、様々な影響を及ぼします。ハラスメント対策を中心としたメンタルヘルス対策をポジティブに展開し、企業イメージの向上、社員のモチベーションアップ、離職率の低下、生産性の向上などにつなげられるよう、具体的な対策・防止措置を考えていきたいと思ひます。	産業カウンセラー 森井 梢江	70

＜会場研修＞

研修日時	研修テーマ	講師	定員
12月7日(木) 14:00～16:00	<b>労働安全衛生法等の動向～法令の相次ぐ改正を考える～</b> 化学物質については、今後労働安全衛生法の規制対象物質が大幅に増加し、化学物質と無縁だと思っていた事業場でもそうもいっていかれなくなる事が予想されます。個人事業主に対する労働安全衛生法令上の対応についても一定規則の改正等が行われましたが、今後も改正が続くことが予想されます。脳心臓疾患や精神障害の労災認定基準等についても変更が相次いでいます。労働安全衛生法令等についてどのような改正が行われ、今後どのような動向となっているかについて考えてみたいと思ひます。	中山 篤	55
12月11日(月) 14:00～16:00	<b>労働衛生管理の基礎と事例 ～安全衛生委員会の運用と活性化および管理監督者の関わりについて～</b> 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。第二部で各企業における「安全衛生委員会の運用と活性化および管理監督者の関わり」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。	吉田 守	55
12月12日(火) 14:00～16:00	<b>過労死等を防ぐために</b> 令和4年度の過労死等の労災認定件数は904件となり、このうち、精神障害の労災認定件数は710件と過去最多になりました。こうした事案を防ぐには、各社が取り組んでいる長時間労働削減案や健康確保、メンタルヘルス、ハラスメント等の対策について、現状や課題を分析し、さらなる対策を推進していくことが重要でです。また、労災認定された事案から、過労死等を防ぐために必要なことは何か、考えて行きたいと思ひます。	野村 みどり	55
12月20日(水) 14:00～16:00	<b>働く人の健康づくりは日常生活の動作改善から～「転倒防止」「腰痛・肩こり予防」～</b> 働く人の身体機能低下による「腰痛」「肩こり」の慢性化、「転倒」などの労働災害が増加しています。この講習会では、関節などにふれながら骨、筋肉、関節を連動して動かす「骨ストレッチ」を紹介していきます。骨ストレッチを行うと、日常生活の動作の筋肉への負担が減り、楽に動けるようになりますので「腰痛」「肩こり」などの予防になります。また、骨・筋肉・関節が連動して動くので脚も上がりやすくなり、「転倒」災害の防止につながります。実技を交えながらの講習会ですが、普段着で年齢に関係なく、誰でもその場で簡単に実施できます。また、職場で無理なく展開できる方法について紹介しますので、この機会に体験していただき職場の健康づくりに役立てていただきたいと思います。◆重要◆体を動かしますので、水分補給のため、飲み物をご持参ください	スポーツケア整体研究所(株) 小沼 博子	29
12月21日(木) 14:00～16:00	<b>ストレスチェック制度の概要等と実践例として ～高ストレス者面談後の一事例、ある集団分析の見方について～</b> ストレスチェック制度は、平成27年12月1日に施行され、7回の実施が過ぎました。いかがでしょうか。受検者の方々の「ストレスの気づき」につながっていますでしょうか。実施方法としては、厚労省のプログラム活用、専門実施機関への委託など、多様化に伴い、チェック項目数、費用も含め、考えさせられるところが多々あるのではないのでしょうか。今回、実施後の高ストレス者面談実施後の一例、ある集団分析の見方などお伝えし、皆さんと意見交換ができればなお有難いです。ストレスチェック実施はとて素晴らしい機会、可視化できる心の健康診断とも言えます。働きやすい職場づくりに向けて一緒に学習していきましょう。	労働者健康安全機構産業保健 アドバイザー 公認心理師 菅野 由喜子	55
12月26日(火) 14:00～16:00	<b>産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編)</b> 定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦労した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。	高山 俊政	55